

広報

No. 174

KCD

昭和62年12月15日

発行・編集 国見町企画課

| | |
|-------------------------|-------|
| 昭和62年度上半期財政状況 | 2 |
| 下水道シリーズ ① | 3 |
| 国見町・桑折町 交通安全町民大会開かれる | 4 |
| 昭和63年度就学予定者 | 6 |
| ふるさとの文化財 | 7 |
| おしらせ | 8~9 |
| 公民館だより | 10~11 |
| わだい | 12 |



'87
12月

100歳!! おめでとうございます

鴨田惣太郎さん(内谷字西脇33)は、去る11月20日、100歳の誕生日を迎えました。

惣太郎さんは、4男の竹男さん、タキノさん夫婦と3人で元気に暮らしていて、子・孫・曾孫合わせて45人います。

この日、赤い帽子に赤いちゃんちゃんこをはおり、お祝いにかけた富永県北行政事務所長や八島助役など多くの人たちとともに長寿を祝いました。

財政公表

一般会計は9億1,000万円の支出

～今年上半期の財政状況とまる～

今年度上半期（四月から九月まで）の、各会計の財政状況を公表します。

つまり、町財政の収入と支出について、九月三十日現在の中間報告ともいえるものです。

この公表は、町条例の規定によって行うもので、詳しく知りたい人は、役場総務課におたずねください。

| 一 般 会 計 の 執 行 状 況 | (歳入) | | | | (歳出) | | | |
|---|-----------------------|---------------|---------------|--------|-------------|---------------|-------------|-------|
| | 区 分 | 予算額(円) | 収入済額(円) | 執行率% | 区 分 | 予算額(円) | 支出済額(円) | 執行率% |
| | 町 区 | 616,488,000 | 369,854,595 | 59.99 | 議 会 費 | 72,678,000 | 34,334,964 | 47.24 |
| | 地 方 議 与 税 | 34,700,000 | 12,349,000 | 35.59 | 總 務 費 | 332,856,000 | 149,424,007 | 44.89 |
| | 娯 楽 施 設 利 用 税 交 付 金 | 1,000 | 0 | — | 民 生 費 | 160,922,000 | 70,220,722 | 43.64 |
| | 自 動 車 取 得 税 交 付 金 | 22,000,000 | 11,581,000 | 52.64 | 衛 生 費 | 312,300,000 | 97,975,130 | 31.37 |
| | 地 方 交 付 税 | 1,100,000,000 | 865,267,000 | 78.66 | 農 林 水 産 業 費 | 176,994,000 | 65,666,219 | 37.10 |
| | 交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金 | 1,191,000 | 1,284,000 | 107.81 | 商 工 費 | 17,576,000 | 13,806,500 | 78.55 |
| | 分 担 金 及 び 交 付 金 | 18,656,000 | 5,835,550 | 31.28 | 土 木 費 | 345,189,000 | 139,446,264 | 40.40 |
| | 使 用 料 及 び 手 数 料 | 25,998,000 | 14,541,360 | 55.93 | 消 防 費 | 108,187,000 | 70,490,748 | 65.16 |
| | 庫 車 出 金 | 86,626,000 | 18,053,461 | 20.84 | 教 育 費 | 392,106,000 | 165,995,236 | 42.33 |
| | 県 支 出 金 | 54,124,000 | 6,329,714 | 11.69 | 災 害 復 旧 費 | 1,000 | 0 | — |
| | 財 産 収 入 | 1,516,000 | 4,958,286 | 327.06 | 公 債 費 | 229,264,000 | 106,531,553 | 46.47 |
| | 寄 付 金 | 1,701,000 | 1,700,000 | 99.94 | 諸 支 出 金 | 1,000 | 0 | — |
| | 繰 入 金 | 74,832,000 | 0 | — | 予 備 費 | 4,458,000 | 0 | — |
| | 繰 越 金 | 34,337,000 | 34,337,731 | 100.00 | | | | |
| | 諸 収 入 | 27,862,000 | 11,750,068 | 42.17 | | | | |
| | 債 権 | 52,500,000 | 0 | — | | | | |
| | 合 計 | 2,152,532,000 | 1,357,841,765 | 63.08 | 合 計 | 2,152,532,000 | 913,891,343 | 42.46 |

| 地 方 債 の 状 況 | 区 分 | 現在高(円) |
|-------------|-----------|---------------|
| | 土 木 | 604,650,095 |
| | 教 育 宅 地 | 742,453,938 |
| | 公 営 住 宅 | 43,287,116 |
| | 児 童 福 祉 | 2,841,632 |
| | 農 林 土 福 祉 | 4,885,486 |
| | 社 会 福 祉 | 6,303,024 |
| | 保 健 体 育 | 108,250,342 |
| | 災 害 復 旧 | 140,857,970 |
| | そ の 他 | 117,739,612 |
| | 計 | 1,771,269,215 |

| 町 税 の 収 入 状 況 | 区 分 | 予算額(円) | 収入済額(円) | 執行率% |
|---------------|---------------|-------------|-------------|-------------|
| | | 町 民 税 | 261,922,000 | 120,614,910 |
| | 固 定 資 産 税 | 265,860,000 | 194,898,570 | 73.31 |
| | 軽 自 動 車 税 | 10,531,000 | 10,916,300 | 103.66 |
| | た ば こ 消 費 税 | 48,529,000 | 28,528,984 | 58.79 |
| | 電 気 税 | 29,644,000 | 14,895,831 | 50.25 |
| | 木 林 引 取 税 | 1,000 | 0 | — |
| | 特 別 土 地 保 有 税 | 1,000 | 0 | — |
| | 計 | 616,488,000 | 369,854,595 | 59.99 |
| | 国民健康保険税 | 316,310,000 | 154,372,230 | 48.80 |

| 特 別 会 計 の 執 行 状 況 | 会 計 名 | 予算額(円) | 収入済額(円) | 執行率% | 支出済額(円) | 執行率% |
|-------------------|------------|---------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| | | 国民健康保険特別会計 | 630,728,000 | 276,152,087 | 43.78 | 224,485,955 |
| | 老人保険特別会計 | 439,990,000 | 195,815,383 | 44.50 | 191,788,752 | 43.59 |
| | 潟水対策施設特別会計 | 44,084,000 | 26,535,699 | 60.19 | 7,964,240 | 18.07 |
| | 貝田簡易水道特別会計 | 10,612,000 | 6,603,066 | 62.22 | 4,078,207 | 38.43 |
| | 青英事業特別会計 | 6,208,000 | 2,489,023 | 40.09 | 1,753,310 | 28.24 |
| | 入山財産区特別会計 | 7,304,000 | 2,324,178 | 31.82 | 2,310,014 | 31.63 |
| | 藤田財産区特別会計 | 2,807,000 | 293,479 | 10.46 | 175,790 | 6.26 |
| | 大木戸財産区特別会計 | 394,000 | 384,881 | 97.69 | 29,810 | 7.57 |
| | 公共下水道特別会計 | 60,501,000 | 30,059,700 | 49.68 | 17,380,495 | 28.73 |
| | 宮後住宅団地特別会計 | 173,488,000 | 57,171,138 | 32.95 | 52,906,250 | 30.50 |
| | 計 | 1,376,116,000 | 597,828,634 | 43.44 | 502,872,823 | 36.54 |

いよいよ始まる

公共下水道事業

下水道 シリーズ ①

国見町は、信達盆地の肥沃な土地に恵まれ、米、果樹、養蚕などを主要な作目とする純農村地帯として栄えてきました。しかし、近年の社会、経済情勢は、大きく変ほうし、生活様式も変化してきました。このため、河川などの公共用水域の水質汚濁が年々拡大しつつあり、下水道の必要性が高まり、すでに各地でその整備が進められています。

この豊かな美しい自然を守り、住みよい快適な生活を確保するため、下水道の整備は、国見町にとっても重要な課題であります。

下水道工事に着工

町の公共下水道の整備計画は、すでに基本計画が策定され、町の都市計画審議会からの答申も得て、昭和六十三年度からいよいよ工事に着手する予定です。

◎下水道の役割

台所やふろ、洗濯や水洗便所などで使ったあとの生活排水や、工場などで生産に役立ったあとに工場排水は、そのまま川や側溝などに流すと水質は悪くなり、悪臭が発生させ、魚が住めなくなるばかりでなく自然の環境を

破壊してしまいます。そうした汚水を集めて処理し、きれいな水を自然のサイクルに戻すのが下水道の役割です。

○川や海がきれいになります

汚れた水が川や海などに直接流れ込むことがなくなり、公共用水域の水質がきれいになります。

○水洗トイレが使えます

くみ取り便所が水洗便所になり、衛生的で快適な生活ができるようになります。

○街がきれいになります

汚れた水が道路の側溝へ流れ

出ることがなくなり、街がきれいに整備されて、「カ」や「ハ」エーの発生源がなくなります。

◎下水道のしくみ

下水道のしくみは大きくわけて、管きよ（汚水管・雨水管）とポンプ場と処理場（浄化センター）から構成されています。

○管きよ（汚水管）

家庭の台所、水洗トイレ、ふろなどからの汚水や、工場、事業所から排出される汚水を収集し、処理場へ送る施設

○ポンプ場

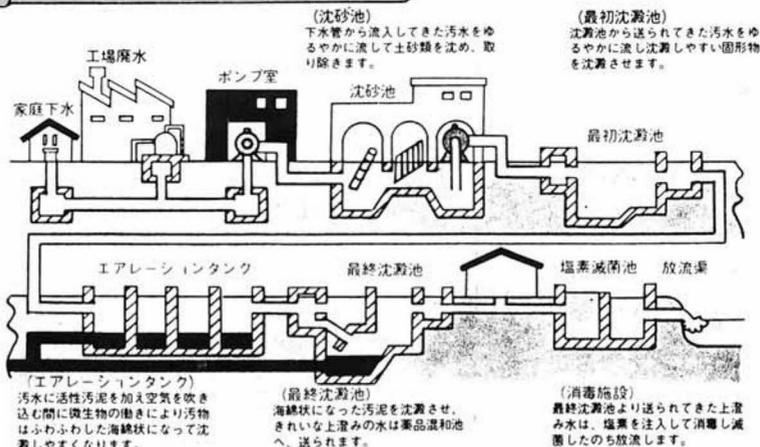
下水は、下水管の中を自然に流下しますが、地形の状況などにより自然流下の困難な箇所を揚水のために設置される施設。

○処理場（浄化センター）

下水管の中を流れてきた汚水を集め、浄化して河川などに放流するため最終的に処理する施設。

汚水がきれいになるまで

分流式(汚水の場合)



『交通安全』は家庭から

国見・桑折町民大会が開かれる

十一月十四日、国見町・桑折町交通安全町民大会が、町民体育館で開かれました。

大会には、国見・桑折町両町民約三百人が集まり、大会長の八島助役が「全町民が決意を新たに、悲惨な交通事故を絶滅して、明るく住みよい町づくりをしましょう」と式辞を述べ、大会副会長の菊田桑折町長、大川戸桑折警察署長らがあいさつ

しました。

その後、今年モデル地区に指定された藤田モデル推進協議会長が状況を発表。また、藤田小六年の大関章子さんが、バトカに体験乗車して見て回った町内の交通状況を、「下校時に横に並びながら歩いていた、また、車を路上に駐車して道を狭くしている」など、いつも通いながらいる通学路にも危険がいっぱいである、と事故防止の発言。

次いで、醸芳中学校の生徒、さらに、母親の立場から、藤田母の会の安田節子さんの提言がありました。

蓬田教育長のまとめがあり、県北中学校アラスバンド部員によるアトラクション、最後に「両町民の総力を結集し、悲惨な交通事故の絶滅を期す」との大会宣言を決議して、大会が終わりました。



▲多くの町民が参加した交通安全大会



▲第4分団に設置されたポンプ車

第四分団第二部に 小型動力ポンプ付 積載車

町では、このほど小型動力ポンプ付積載車（日産アトラス）を、第四分団第二部（川内）に配置しました。

十一月二十八日、役場前で引き渡し式を行い、助役から団長に、団長から分団長へ引き渡し書が渡されました。

今回配置された日産アトラスは、十人乗り用に改造された積載車で、昨年、森山に配置されたものと同等です。

さらに、シバウラの小型ポンプ（四十馬力）も、川内、森山（第三分団第一部）に、それぞれ配置されました。



年末を控えて手帳売り場がにぎわっています。英米独仏など各国からの輸入物もありません。外国品では、日本の祝日（わが国で困ると思われていますが、日本向けにちゃんと入っているものもあります。そうでないものには、祝日などのシールが用意されています。

最近の流行はシステム式手帳。バインダーに、スケジュール、アドレス、カード入れなど何でもパンツケージした部厚い手帳で、これも輸入品や国産がいろいろ出ています。なかには十五万円ものものがあってびっくり。これは高級な革を使った特製品ですが、普通のものでも、一万円以上のものも

手帳

目立ちました。もうひとつの新顔は電子式の手帳。漢字でメモ書きができ、百年以上先までのスケジュールや、千五百人分の電話番号を記憶するなどの機能を持ったものも出ています。また、声で記憶する電子式の手帳もありです。手帳の世界も様変わりですね。

最近はずいぶん、スケジュール手帳を持つようになりました。世の中ますます多忙になりそうです。

ところで年末年始には事故や犯罪、特に金融機関関係の犯罪が増加します。銀行などの金融機関を利用する時には、次のようなことに注意しましょう。

*お金をおろして金融機関から出たとき、後を追って来て「支払いを間違えました」などと声をかけられたら信用しない。その場合は窓口に戻って確認する。*銀行などに行く時にはなるべく一人でなく複数で。*大金は持ち歩かない。お金を引き出したら寄り道しないで帰る。



小坂小学校で

「収穫祭」

十月十二日に稲刈りを終えた小坂小学校では、十一月十七日、取れた米を全校生で味わう「収穫祭」を行いました。

この日は強風のため、外で全校生でカレーライスを作る予定を、急ぎよ、教室内に変更。五、六年生が料理し、一年生から四年生はレクリエーションをして楽しみました。

今年の米の収穫量は昨年より多く三俵で、子供たちは、自分たちで作った新米でのカレーライスに、舌つづみを打っていました。



▲みんなで協力してカレーをつくる

また、小坂小学校では、毎年児童図書を寄付してくれている石原商店社長の石原巖さんの仲介で、石原さんの出身校である静岡県引佐郡細江町の西賀賀小学校と、今年の五月、姉妹校となりました。

十一月二十六日に行われた西賀賀小学校研究発表会には、安藤校長も出席し、小坂小学校で収穫した米を、全校生とP.T.Aの皆さんで食べてもらい、大変喜ばれたとのことです。

消えたかな

気になるあの火

もう一度

秋の全国火災予防運動週間の初日(十一月二十六日)、森江野小学校一年生による防火パレードが行われました。

パレードを前に、全校生に、村上第三分団長が最近の火災発生状況と、防火に対する正しい知識を身につけてもらうようにお話しをしました。

パレードは、伊達地方消防組合西分署広報車を先導に、森江野小学校を出発。一年生は、そいのハッピー豆しばり手ぬぐいのハチマキ姿で、拍子木、小型まといなどを持って、徳江の村公商店前までの往復を一火の

用心お願いします」と防火を呼びかけました。



▲森江野小1年生による防火パレード

高橋 昇さんに

感謝状



高橋 昇さん

去る十一月十一日、福島市民会館において、福島地区納税貯蓄組合連合会長から、大町南部落納税貯蓄組合長高橋 昇さんに、永年にわたり納税貯蓄組合の育成指導と、納税道義の高揚

に尽くされた功績に対し感謝状が贈られました。

この受賞をたなえ、長年のご労苦に対し深く感謝を申しあげます。

八島貴瑞君が二等賞

古溝拓君は秀作賞



八島貴瑞君



古溝 拓君

第三十九回全国幼稚園児・小中学生動物愛護ポスターコンクールが、九月二十・二十一日の両日、東京の代々木公園で開催されました。このコンクールに出品した八島貴瑞(たかみつ)君(藤田幼

稚園) 山崎字小林八(二等賞)に、また、古溝拓(ひろし)君(藤田幼稚園) 小坂字前三(三)が秀作賞に、それぞれ幼稚園の部で受賞しました。また、十二月日から来年一月四日まで、富士美術館で開かれている富士美術館全国小・中高絵画展で、「銅賞」に吉田久俊君(藤田小四年)、「入選」に八島隆記君(藤田小六年)、古溝真奈美さん(小坂小三年)がそれぞれ選ばれました。

◆ 税務署の移転のお知らせ!!

福島税務署が、森合町へ移転しました。(検察庁の隣)新しい近代的な庁舎に生まれ変わりました。お気軽にご利用ください。

- 所在地 〒960 福島市森合町16-6
- 電話番号 34-3121 (代表)

昭和六十三年年度

就学予定者

昭和五十六年四月二日、昭和五十七年四月二日まで生れの方



来春小学校に入學される百二十八名の皆さん、おめでとございます。健康に十分注意して、入学式には、皆さんそろって元氣な顔を見せてください。

記載もれや誤字などがありましたら町教育委員会までお知らせください。☎八五二一—一

(敬称略)

藤田小学校65名(男31、女34)

- 伊東好一 斎藤 恵美子
樋口雄亮 佐藤 和江
新井友香 八巻 たか子
武田秀利 島 麻美
星 隆紀 吉田 弥智
黒田和孝 阿部 真理子
吉見絵美 佐藤 聖美
岡田友和 佐藤 敦則
玉山秀太 藤 美由紀
古木佐友 藤 あゆみ
佐藤地めぐみ 齋藤 真由美
菊地真奈美 半澤 沙希
佐藤大介 菊地 育美
佐藤寛明 大塚 洋

小坂小学校21名(男8、女13)

- 八巻 さとみ 高橋 幸恵
浅野 平八 島 貴瑞
佐藤 正吉 田 明彦
佐藤 政彦 佐藤 美都子
中村 修 穴戸 裕子
吉田 修 穴戸 裕子
高橋 寛朗 若林 美加
松浦 郁枝 佐久間 千陽
鎌田 智咲 渡邊 雅彦
八巻 裕之 四家 浩彦
渡辺 絵梨 安藤 且人
吉川 敦 菊池 友恵
後藤 洋介 藤 一利
堀口由香利 齋藤 美香
高橋 祐介 木村 菜穂子
松田 美沙 吾 しのぶ
吉田 美沙 佐竹 剛幸
齋藤 敬 遠 藤 千春
佐藤 友浩 藤 千春

天枝小学校7名(男5、女2)

- 高橋 千裕 後藤 拓太
佐藤 優也 赤坂 明日香
菅野 謙一 熊坂 伸江
菅野 ひとみ 秋葉 江里子
古内 賢一郎 手老 絵美
古内 純子

森江野小学校19名(男10、女9)

- 阿部 貴子 遠藤 幸宏
佐久間 崇昭 佐藤 由香里
阿部 真理子 石川 由紀
寺島 真華 吉田 幸博
斎藤 可奈枝 徳江 宏晃
村上 富智子 徳江 直樹
菊池 貴裕 菊池 信幸
菊池 達也 佐久間 秀幸
佐藤 典子 佐久間 健太
菊池 恵実

大木戸小学校16名(男6、女10)

- 松田 京子 佐藤 桃恵
高橋 奈々 佐藤 まゆ子
高橋 まり子 渋谷 章
洪谷 郷美 八島 大作
本田 真幸 藤阪 紀恵
松浦 宏樹 大内 奈々
齋藤 守岡 田 ナナ子
大沼 夏美 高橋 里美

愛の献血に 93人



▲献血に協力する皆さん(国見製菓前で)

十一月十七日、献血バスが来町し、国見製菓前、国見タイツ前、サービスイリア鬼わさび本舗前、県北中学校前、藤田小学校前で献血活動を行いました。今回は、目標本数百本に対し、献血本数九十九本(二百cc換算)と、目標にわずかに達しませんでした。

でしたが、九十三人(申し込み者は百十六人)の方々にご協力をいただきました。ほんとうにありがとうございました。

献血ありがとうございます

ごさいました

(順不同・敬称略)

(一般協力)

- 松浦 正明 八島 和子
菊池 幸喜 阿部 節子
佐藤 光信 阿部 美紀子
工藤 ミサ子 谷津 陽子
松浦 弘男 大沼 良子
松田 ツヤ子 榎村 ヨツ
松浦 市太郎 阿部 ノヅ
志村 孝明 阿部 トミエ
阿部 洋一 紺野 敏雄
八島 健一 野 勝寛

(国見製菓)

- 彦坂 勝利 彦坂 幸恵
藤阪 敏幸 藤阪 良重
八島 正則 村上 敏夫
若生 春美 国分 秀子
後藤 順子 遠藤 好美
八島 トミエ 佐藤 直子
半田 智賀子 小野 千代子
蓮田 笑子 小野 千代子
菊池 ミワ 四家 勉



行く年来る年 笑顔で防犯

今年も、あわただしい年の瀬がやってきました。

例年この時期になりますと、金融機関強盗や、あき果、スリなどのちよつとした心のスキを突いた犯罪が多発します。

警察では、このような事件、事故を防止するために、年末から年始にかけて「特別警戒」を行います。

皆さんも防犯に気を配り、明るい新年を迎えましょう。

戸締りはしっかりと
・外出するときは、わずかな時間でも、必ず戸締りをお願いします。

・隣近所に一声かけて、留守を頼んで出かけましょう。
・多額の現金は、なるべく手許に置かないようにし、通帳や印鑑は別々に保管しましょう。

昭和六十三年 幼稚園児を募集



国見町教育委員会では、就学一年前の幼児を対象として園児を募集いたします。

入園希望者は、左記のとおり申し込み下さい。

申し込み場所 藤田幼稚園、森幼稚園
江野幼稚園（入園願書などは各幼稚園にあります）

申し込み期間 昭和63年1月11日（月）、12日（火）（午後1時から4時30分まで申し込みください）
※なお、詳しくは「かいらん」をご覧ください。

10分早め出勤 登校運動

朝の交通安全 一声運動



一、趣旨

出勤や登校する家族を10分早めに送り出し、時間のゆとりを持たせることにより、心の余裕を作り、速度抑制・安全確認な

どを促し交通事故の防止を図る。家族が出かける時、交通事故防止の具体的な注意を呼びかけ、交通事故の防止を図る。

二、実施期間

昭和62年12月1日～昭和63年1月10日まで

老人家庭奉仕員制度

をご利用ください

（ホームヘルパー）
寝たきり老人や一人暮らし老人で、身体上または精神上の障害があつて、在宅での生活を営むのに支障がある老人家庭へ、家庭奉仕員を派遣してあります。

◎奉仕作業の内容

・家事介護、相談・助言など
問い合わせは、町役場住民課福祉係（☎八五二二一一）内線一三三へおたずねください。

国見町建設工事入札 参加資格申請所の 追加受付について

一、受付期間

昭和63年2月1日～2月29日

二、対象

国見町が発注する六十三年度工事の入札に参加希望するもの

三、提出先

国見町役場建設課、給配水工事については水道課、いずれも持参提出

四、申請書の様式

建設省統一様式または県指定様式

五、書類のとじ方

B5S判紙ファイルとじ

年末年始水道 修繕工事当番表

（南斎久設備）

国見設備 ☎85二二二〇

☎85三〇六三

☎85四一一七

国見ガス住宅設備係 ☎85二二二七

☎85二二二二

☎85二二二〇

☎85二〇六七

（南国見建工）

☎85四五二二

☎85三三二一

☎85三三二一

☎85三三二一

☎85三三二一

☎85三三二一

半沢水道工業所

☎85三一九八

藤田保育所の 入所児童を募集



藤田保育所では、昭和六十三年度の入所児童を次のとおり募集いたします。

○受付期間

昭和63年1月27日（木）から1月30日（日）までの午前8時30分から午後5時まで、（30日（日）は午前8時30分から正午まで）

○対象場所

国見町役場 住民課福祉係

○対象年齢

1歳から未就学児（昭和63年4月1日現在）

○募集定員

一〇〇名

○持参していただくもの

印鑑。会社員などの給与所得者の場合は、昭和62年分の源泉徴収票、児童の両親、同居している祖父全員のもの）

※詳しいことは、役場住民課福祉係（☎八五二二一一）内線一三四、有線四一六）か、藤田保育所（☎八五二二三四）におたずねください。

十二月は、町県民税・国民健康保険税(第四期)の月です。十二月二十五日までに納めましょう。

戸籍の窓口

(11月受付分)

出生おめでとうございます

| | | | | | | | |
|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 勝め | 也み | 子か | のつ | 保木 | 護者 | 部川 | 落内 |
| 影美 | 産香 | か | き | 鈴野 | 英博 | 宮板 | 北橋 |
| 三香 | あみ | あ | こ | 野吾 | 正幸 | 第大 | 三北 |
| 朋未 | よん | ま | かう | 八彦 | 幸勝 | 第大 | 一田 |
| 麻琴 | さん | か | う | 戸藤 | 高正 | 第大 | 柳取 |
| | とみ | と | り | 藤浦 | 弘和 | 第大 | 東南 |
| | ま | さ | み | 野高 | 陽 | 第大 | 南部 |
| | あ | と | い | 野藤 | | 第大 | 母田 |
| | こ | と | み | 藤木 | | 第大 | 取南 |
| | あ | と | み | 高正 | | 第大 | 川部 |
| | こ | と | み | 弘和 | | 第大 | 宮中 |
| | あ | と | み | 陽 | | 第大 | 宮中 |

結婚おめでとうございます

| | | | |
|-----|----|----|----|
| 氏名 | 名 | 部川 | 落内 |
| 江田 | 昇子 | 部川 | 落内 |
| 松藤 | 宏美 | 部川 | 落内 |
| 田沢 | 美夫 | 部川 | 落内 |
| 越田 | 信子 | 部川 | 落内 |
| 池田 | 信子 | 部川 | 落内 |
| 藤崎 | 信子 | 部川 | 落内 |
| 坂田 | 信子 | 部川 | 落内 |
| 岡小石 | 信子 | 部川 | 落内 |

おくやみ申し上げます

| | | | |
|----|----|----|----|
| 氏名 | 年齢 | 部川 | 落内 |
| 検イ | 55 | 部川 | 落内 |
| メハ | 91 | 部川 | 落内 |
| ナカ | 78 | 部川 | 落内 |
| ツル | 71 | 部川 | 落内 |
| ハハ | 89 | 部川 | 落内 |
| ハハ | 74 | 部川 | 落内 |
| ハハ | 85 | 部川 | 落内 |
| ハハ | 66 | 部川 | 落内 |

健康保険と厚生年金保険は、会社、工場、商店などが加入し、そこで働く人々を対象とする社会保険です。

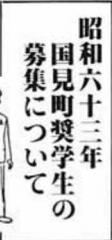
これまでは、従業員が五人に満たない事業所は、希望するところだけが健康保険と厚生年金保険に加入することになっていました。したが、法令の改正で「昭和六十二年四月一日からは従業員が三人、四人の事業所」はすべて加入することが義務づけられました。

あなたの事業所も健康保険・厚生年金保険に加入することになりまし



当町では、故山田長一氏が町出身者の育英、奨学のために寄付された財産などをもちに、奨学資金制度を実施しています。六十三年度も、次の要領で奨学生を募集いたします。希望の方は町教育委員会までお申し込みください。

なお、現在中学三年生で希望の方は県北中学校へお申し込みください。



昭和六十三年 国見町奨学生の 募集について

- ◆入学支度資金(入学時に貸与、修学期間内に返還)
 - 募集人員 若干名
 - 金額 高校十万円以内、大学二十万円
- ◆修学資金(毎月)
 - 募集人員 若干名
 - 金額 高校八千円以内、大学一万円

人口と世帯

| | |
|-----------------|----------|
| 12月1日現在(前月比) | 11月中のうごき |
| 男 5,781人 (-1) | 転入 21人 |
| 女 6,234人 (+7) | 転出 18人 |
| 計 12,015人 (+6) | 出生 12人 |
| 世帯数 2,898戸 (+1) | 死亡 9人 |

お詫ごと訂正

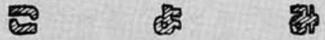
先月号の九頁戸籍の窓口の、出生おめでとうございます欄で、貴之ちゃんの保護者が井砂義明さんとするのは井砂秀明さんの誤りです。お詫びして訂正いたします。

の奨学資金の貸し付け、または給付を受けていないことが前提となります。

◆申し込み期間
昭和63年1月5日から1月22日まで

◆申し込み場所
国見町教育委員会
(高校、高専進学者は中学校へ申し込みのこと)

※詳しくは「かいらん」をご覧ください。



| | |
|------------------|-------------------|
| 12月 師走(しわす) | 1月 睦月(むつき) |
| 21日(月)小中学校2学期終業式 | 1日(金) 旦 |
| 22日(火) 冬 至 | 2日(土) 初荷、初夢 |
| 25日(金) クリスマス | 11日(月) 小中学校3学期始業式 |
| 31日(木) 大みそか | 15日(金) 成人の日 |

心配ごと相談日

場所：役場二階相談室 (東側人口からお入り下さい)

時間：9時～12時

こまったことや、相談ごとがありましたら、お気軽にご相談下さい。秘密は絶対に守ります。

[相談員]

12月25日(金) 後藤 一・玉手マルヨ
1月14日(木) 高橋藤右エ門・安藤トヨ
※1月5日は休ませていただきます。

公民館だより

国見町公民館
☎85-2676
(有) 4156

盛大に文化祭を

開催

第十七回国見町文化祭は、町文化団体連絡協議会(秦三郎会長)と、文化祭実行委員会が主催し、町と町教委、公民館の後援で十一月一日から十五日まで、町民体育館と町公民館を会場に、盛大に開催されました。

十一月一日から三日まで開催された総合展示会では、各団体と児童生徒の力作が勢ぞろいし、訪れた大勢の町民の方たちが立



▲総合展示会風景

ちどまりながら観賞してしました。

今回は、初の試みで公民館も展示会場となりましたが、ゆつたりとした展示ができ好評だったようです。また同時に行われた各種の催しも盛況でした。

八日には芸能祭第一部が開催され、大勢の町民が詰めかけた会場では、各団体発表者の熱演、盛大な拍手が送られました。



▲初めて開催された音楽祭

また、この夜開催されたダンスパーティにも、愛好者がたくさん参加し、秋の夕べを社交ダンスで楽しみました。

十五日午前中には、音楽祭が初めて開催されました。今まであまり聞く機会がなかった県北中吹奏楽部の参加で、新鮮で、華やかな音楽祭になりました。午後からは、今年度の文化祭をしめくくる芸能祭第二部が開催され、会場いっぱい聴衆の前で各団体とも、日ごろの練習の成果を十分に発揮できたようです。

近年文化活動に対する関心が高まる中で、町の文化を集大成する文化祭も、ますます充実、発展してきています。

町民の皆さんにも、来年の文化祭には、何らかの形で、ぜひ、参加していただきたいと思ひます。



▲芸能発表会

二十三チームが出場

国見町一周

一駅伝大会

十一月八日、第十一回町内一周駅伝競走大会が、一般の部十八チーム、中学生の部五チームのこれまで最高の二十三チーム、二百三十人の参加で開催されました。

午前九時開会、大会長の蓬田教育長のあいさつ、来賓の佐藤忠美文教厚生常任委員長の祝辞があり、続いて前年優勝の小坂Aチーム代表安藤聡史選手の力強い選手宣誓、午前十時号砲で一斉にスタートしました。



▲一斉に役場前をスタート

二十三・五kmのコースを各チームが健脚を競いあいました。選手たちは沿道に詰めかけた町民の方の声援を受けながら、精いっぱい力をだしました。全員タスキをつなぎました。

選手の皆様さん御苦労様でした。成績は次のとおりです。

一般の部

◎優勝 小坂Aチーム

1時間22分03秒

◎準優勝 源宗山チーム

1時間22分11秒

以上大会新

◎第三位 高城

1時間24分57秒

◎優勝 藤田Aチーム

1時間24分16秒

◎準優勝 小坂チーム

1時間26分29秒

◎第三位 森山野チーム

1時間26分55秒

☆区間賞(一般の部のみ掲載)

一区 蓬田晋司(徳江南)

二区 藤原よしみ(小坂A)

三区 村上秀和(徳江南)

四区 高橋豊光(源宗山)

五区 菊地芳昇(石母田A)

六区 佐藤良(小坂A)

七区 関根英樹(高城)

八区 小野禎寛(高城)

九区 菊地頼幸(源宗山)

十区 鴨田清一(内容西)

滝川クラブが

二年ぶり優勝

公民館、町体協主催の第五回町長杯争奪ソフトボール大会が、県北中グラウンドで、十月二十一日から十一月七日まで、延十六日間ナイターで開催されました。この大会は、九月初旬に開催する予定でしたが、グラウンドの整備工事のため寒い時期の開催となりましたが、地区、職場で編成した三十二チームが参加し、秋の夜寒さを忘れて熱戦が繰り広げられました。

試合結果は次のとおりです。

- 優勝 滝川クラブ
- 優優勝 徳江北部
- 第三位 睦商会

＃ 耕谷クラブ



▲2年ぶり優勝の滝川チーム

- 準優勝 大木戸 A
- 第三位 ジュニアフレンズ(川俣)
- 第四位 藤田 A
- 第五位 森江野 A



▲2連勝した小坂 Aチーム

「小坂 A チーム 二連勝」 第二回国見町

スポーツ少年団駅伝大会

第二回国見町スポーツ少年団駅伝競走大会が、十一月十五日開催され、昨年度に続いて小坂 A チームが優勝しました。この大会には、町内ソフトスポーツ少年団十一チームと、隣接町招待の十二チームの二十三チームが参加して盛大に行われました。成績は次のとおりです。

優勝 小坂 A

準優勝 大木戸 A

第三位 ジュニアフレンズ(川俣)

第四位 藤田 A

第五位 森江野 A

青少年健全育成

剣道大会を開催

国見町、桑折町及び福島県剣道連盟桑折支部主催の、第二十二回国見町・桑折町青少年健全育成剣道大会が、十一月二十九日、勤労者体育センターで開催されました。

この大会は、青少年健全育成を目的として、剣道愛好者が一堂に会し、相互の親睦と心身の鍛錬を図ることを主として行われました。

開会式では、大会会長国見町長の代理として八島助役からあいさつ、来賓の穴戸町議会議長、大川戸桑折警察署長などの祝辞があり、試合に入りました。

この日は朝から小雪が降り、寒さが厳しい中で行われましたが、豆剣士たちはお父さん、お母さんの声援を受け、団体戦、個人戦に熱戦を展開され、すばらしい大会となりました。

成績は次のとおりです。

◎団体戦

△小学生低学年(一〜三年)

①国見 ②桑折

△小学生高学年(四〜六年)

①国見 A ②桑折 A ③国見 C

△中学生(男子)

①釧芳 ②県北 A ③県北 B

◎個人戦

中学生(女子)
①県北 A ②釧芳 ③県北 B

小学生(一、二年生の部)

①瀬戸貴紀園 ②村木貴紀園

小学生(三、四年生の部)

①大和田健智園 ②遠藤祥史園

③吉田和正園

小学生(五、六年生の部)

①瀬戸裕二園 ②半沢勝則園

③瀬戸正人園

中学生(男子の部)

①須田浩元園 ②朽木貴之園

③遠藤正泰園

中学生(女子の部)

①吉田有希園 ②鈴木由紀恵園

③清水恵子園

十一月の学習から

△阿津賀志学級

十一月六日

交通安全のマナーについて、



▲熱戦を展開!!

町交通教育指導員の大沼勉さんから指導を受けました。

十一月二十日

「郷土の学習」として、町文化財審議会委員の菊池利雄さんを講師に招き、「阿津賀志山台戦から藤原氏滅亡まで」について講義を受けました。

△成人学級

十一月十一日

伊達地方消防組合西分署後藤義春署長を講師に「火災への知識と、予防について」講義を受けました。

十一月二十五日

公立藤田病院小野美明先生の講義で「中高年者の健康管理」について学習

△母と子の公民館活動

今月はビーズブローチを制作しながら児童図書の出出を行う。

△乳幼児学級

十一月十八日

蓬田教育長を講師に「子供の成長と発達」と題して、基本的な生活習慣の訓練と、上手なほめ方、しかり方について学習

△少年仲間づくり教室

十一月二十九日

昔の遊びとして、たこづくり

わだ
い



松浦辰雄さん

全国優勝と準優勝

十一月十四日、十五日の両日、沖縄県で行われた「第二十三回全国身体障害者スポーツ大会」に、福島県代表として参加した松浦辰雄さん（35歳）と石母田字下原五八の二が、ソフトボ

ール投げで26m60cmで優勝、さらに車イス100m走で19秒2で準優勝と、輝かしい成績をあげました。

この大会は、身体障害者がスポーツを通じて、機能の回復と体力の維持増強を機、自らの障害を克服して、明るい希望と勇気をもってたくましく生きて行く能力を育てるとともに、一般社会の身体障害者に対する正しい認識を深めることを目的としたものです。

松浦さんが優勝したソフトボール投げには、フィリピン選手を含む十三人が参加、また、百m走には十六人が参加しました。

佐藤善次郎さんに

地方自治功労表彰

地方自治法施行四十周年、自治制公布百年福島県記念式典が十一月十日、福島市の県文化センターで開かれました。

この席上、長年にわたり社会教育に尽力した佐藤善次郎さん（85歳）と小坂字小坂三七がその功績が認められ、功労者表彰を受けられました。

佐藤さんは、大正九年に小坂村青年団長に就任以来、町公民館長、町教育委員会委員長、福島県公民館連絡協議会会長など



▲松浦辰雄さん（左）と八島助役

を歴任され、現在も、町社会教育委員として活躍されています。



▲表彰状を手に喜びの佐藤善次郎さん

町営牧野二十五周年

盛大に祝う

町営牧野の開設二十五周年記念式典は、十一月十六日、農協会館で盛大に開かれました。

町営牧野は、国見町と宮城県白石市にまたがる六十四鈴の牧場で、昭和三十八年に開設されました。現在の組合員は三十四人で、今年も五月から十月まで、町内の畜産農家から六十四頭が預けられ（うち親牛は五十頭、十二頭の子牛が生産されています。

記念式典には、組合員をはじめ、県、町などの関係者約百人が出席しました。町長職務代理者の八島助役のあいさつの後、高橋友義組合長が、「この二十五年間に、いろいろな苦難がありました。今後は、この牧野組合がますます発展するよう、力を合わせていきたいと思います。」とあいさつしました。

最後に、全員で乾杯し、二五年の歩みをなごやかに歓談しました。

編集日記

△今年もいよいよ冬将軍が到来しました。一日には、今シーズン初めての雪とあって、ノーマルタイヤの車が多く、だいぶスリップ事故が多くなっています。これからは、雪のシーズンですので、車の運転には十分注意したいものです。

△年の瀬が近づくと、何となくあたたかさを感じますが、こんな時こそ、余裕をもって事に当たることが大事だと思います。「急いで仕事を仕損じる」のことも心にもありますので、年末年始を過ごしてください。

△早いもので、今年も残すところあとわずかとなりました。この一年間、大変お世話になりました。来年も「広報くにみ」をよろしく願っています。

△今年もいろいろな事がありました。国では、中曽根首相から竹下首相への政権交代があり、町でも、四月に町議会議員の選挙があり、新しい議員の皆さんが誕生されました。私も、結婚そして子供の誕生といういろいろありました。皆さんも、この一年をふりかえってみて、来年へのステップにしてみたいかがでしょうか。（佐）



▲八島助役から感謝状を受ける佐藤一郎さん

発行・編集 国見町企画課

九九六一七

福島県伊達郡国見町大字藤田字一丁二の二の1 (〇二四五) 八五二二二 (代表)